檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第9号　令和5年(2023年)1月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　ひやまリサイクル工作コンクール 2022 が行われました！

檜山振興局と檜山造形教育研究会は、令和 4 年度「ひやまリサイクル工作コンクール 2022」を実施しました。身のまわりの不要品を使った工作を通じて、リサイクルや地球温暖化対策への関心を高めることを目的に平成 10 年度から実施しており、今年で 25 回目となります。

檜山管内全ての小学校から 218 点の応募があり、ペットボトルや牛乳パック、シーグラスなどを再利用した作品が多数集まりました。審査員は、「どの作品も様々な工夫が施されていて、見応えのあるものばかりだった」と話していました。

低学年・高学年の部でそれぞれ金賞、銀賞、銅賞、各町から 1 点ずつ特別賞が選ばれ、振興局ロビーで作品展示会が行われました。

低学年の部　金賞
上ノ国小3年 住吉姫菜さん
「プラネタリウム」

高学年の部　金賞
今金小6年　　近藤李莉さん
「ピリカダムのプランター」

その他の受賞作品は、檜山振興局環境生活課の HP からご覧ください。
檜山振興局

2　各町のイベントのご紹介（上ノ国町）

シニアのためのスマートフォン講座

12 月 15 日（木）に、上ノ国町教育委員会が主催する、町内のシニアの方を対象としたスマートフォン講座が行われ、12 名が参加しました。

IT 関連会社・リングロー株式会社が運営する、八雲町にある「泊川集学校」から講師を招き、Wi-Fi の設定方法や無料通話アプリの使い方、インターネットの検索方法、詐欺メールなどの利用上の注意点などについて学びました。

参加した方々は、講師の先生に操作方法を教わりながら、アプリの操作やスマホを利用した検索クイズなどに取り組みました。操作方法を教え合うなど参加者同士の交流も多く、楽しそうに参加していました。「今後ガラケーが使えなくなるのでスマホに変えたが、使い方を丁寧に教えてくれたのでためになった。」「今までなんとなくで使っていた。今日使い方を学んで、これまでの使い方が間違っていなかったことが分かって良かった。」「帰ったら、家族にメッセージを送ってみたい。」などの感想が聞かれました。

参加者同士で教え合う様子

上ノ国町教育委員会の髙谷主査は、「今回の事業は、町民からのスマートフォンの使い方について学ぶ講座をやってほしいという要望に応えて実施した。次年度以降も町内会の高齢者向けに実施するなど拡大するとともに、今後も町民の声を大事にした事業を展開していきたい。」と話してくださいました。

3　檜山地域の魅力発信イベントが開催されました！

ほっかいどうチャレンジピッチ in 檜山

檜山振興局は 12 月 1 日（木）プレゼンテーションイベント「ほっかいどうチャレンジピッチ in 檜山」を開催しました。地元の魅力やポテンシャルをいかして地域活性化に取り組んでいる 4 組の「地域づくりチャレンジャー」が、それぞれの取組を発表し交流することで、檜山管内の魅力発信につなげることを目的に行われました。江差高校からは 3 名の生徒が「地域づくりチャレンジャー」として参加しました。

江差高校生の発表「あの江差の夏をもう一度」　辻　隆人さん、斉藤　叶大さん、坂本　創太さん

幼なじみの6人で結成した「江差防衛隊」の取組について発表しました。メンバーが楽しみにしている姥神大神宮渡御祭がコロナ禍で中止となるなか、伝統を絶やさぬように町内でお囃子を披露する活動や、江差の名所を紹介する動画の制作など、高校生だからこそのアイディアで江差町の魅力を発信している様子を発表しました。

発表後の意見交流では、「江差のお祭りをもっと広めたい」「進学等で江差を離れても、いつか戻ってきて江差の魅力を伝えていきたい」と今後の決意を語ってくれました。

発表の様子

活動の様子（発表スライドから）

他のチャレンジャー・観覧者からの感想

○　高校生が、「自分たちのやりたいこと」を形にして発信している姿に感動した。

○　今後も江差の魅力を発信し続けてほしい。同じような思いを持つ若者がたくさん現れてほしい。

ファシリテータからの助言　　（一社）北海道総合研究調査会　五十嵐　智嘉子　氏

○　高校生と役場や民間が連携して地域活性化に向けた取組を進めることが今後求められている。

○　進学等で江差町を離れることも大切なこと。外から江差町や檜山を見ることで、良いところにも足りないところにも気づくことができる。その上で魅力を発信できるよう学びを深めてほしい。

他のチャレンジャーの発表をご紹介

サッカムセタナイ（Satkam et Seta-nay）髙橋　広大　氏

フランスで修行し国内レストランで勤務した後、せたな町にＵターン移住し、「若松ポークマン」を使った食肉加工品を製造。檜山地域の素材を最大限活用しながら、食卓のトータルコーディネートを発信する取組を発表されました。

厚沢部町地域おこし協力隊　中村　和恵　氏

厚沢部町にＵターン移住し、地域おこし協力隊として活動。地域商社「素敵な過疎づくり株式会社」に所属し、地域資源を活かしたイベントや、町産品を活用した新商品開発などによる地域活性化に向けた取組を発表されました。

OTB　PRODUCTION　東堂　祥平　氏　　細畑　佑一郎　氏

乙部町内外の若者を中心に結成した地域活性化団体。地元の団体と連携して開催したイベント「田植え体験＆どろんこで遊ぼう」の取組や、今後の展望について発表されました。

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○　「ひやまをつなごう」について

2023 年も、檜山地域の地学協働に関わる取り組みをタイムリーにお伝えしていきたいと思います。イベントなどの情報提供は随時受け付けておりますので、右側の QR コードから御協力お願いいたします！！

情報提供・アンケート
個人配信登録はこちらから！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です